

認定書

国住指第 811 号
令和 2 年 9 月 11 日

日鉄建材株式会社
代表取締役 中川 智章 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：2 時間（第一号）、1 時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP120FL-0212
2. 認定をした構造方法等の名称
吹付けロックウール被覆/コンクリート・デッキプレート造床
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
吹付けロックウール被覆／コンクリート・デッキプレート造床
2. 構造の安定性：
当該構造の設計はデッキプレート床構造 設計・施工基準 2018(日本鉄鋼連盟)及びBCJ評定-ST0076-05に従う。
3. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
床厚さ	100～150mm
支持部材間隔	構造計算等により構造安全性が確かめられたスパン
支持方法	単純支持又は連続支持

4. 仕様の主構成材料：
仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様
デッキプレート	材料：デッキプレート(JIS G 3352) 材質：①～③の一 ①SDP2G ②SDP2 ③SDP3 厚さ：1.0～1.6mm 山高さ：50(±1.5)mm 働き幅：600(+8、-2)mm 降伏点：235N/mm ² 以上
コンクリート	材料：レディーミクストコンクリート(JIS A 5308) 種類：普通コンクリート 呼び強度：18～36 厚さ：デッキプレート山上から50～100mm
被覆材	材料：吹付けロックウール 組成(質量%)： ロックウール(JIS A 9504) 60.0(±5.0) ポルトランドセメント(JIS R 5210) 40.0(±5.0) 但し、ポルトランドセメントは普通ポルトランドセメント、早強ポルト ランドセメント、超早強ポルトランドセメントのいずれかとする。 密度：0.28g/cm ³ 以上(絶乾) 厚さ：20mm以上

5. 仕様の副構成材料：
仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
ひび割れ拡大防止用鉄筋	材料：①～③の一 ①溶接金網(JIS G 3551) 種類：1)又は2) 1)丸鉄線 2)異形鉄線 径：6mm以上 網目間隔：150×150mm以下 ②鉄筋格子(JIS G 3551) 径：6mm以上 網目間隔：150×150mm以下 ③異形鉄筋 材料：1)又は2) 1)鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112) 種類の記号：a)～e)の一 a)SD295A b)SD295B c)SD345 b)SD390 e)SD490 2)鉄筋コンクリート用再生棒鋼(JIS G 3117) 種類の記号：a)又はb) a)SDR295 b)SDR345 寸法：D10以上 間隔：200×200mm以下 かぶり厚さ：床上面から30mm以上
スペーサー	材料：①又は② ①鉄線 径：4mm以上 ②セメントモルタルブロック 取付間隔：1000mm以下
留付材	デッキプレートとはりの接合： 材料：①～④の一 ①頭付きスタッド 寸法：φ13mm以上 間隔：300mm以下 ②焼抜き栓溶接 寸法：溶接径φ18mm以上 間隔：300mm以下 ③打込み鋲 寸法：4.5mm以上 間隔：300mm以下 ④アークスポット溶接 寸法：溶接径φ12mm以上 間隔：300mm以下

6. 仕様の構造説明図：
仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

単位 mm

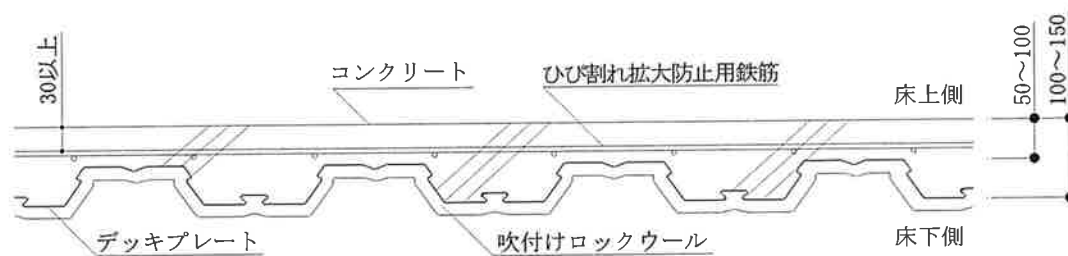
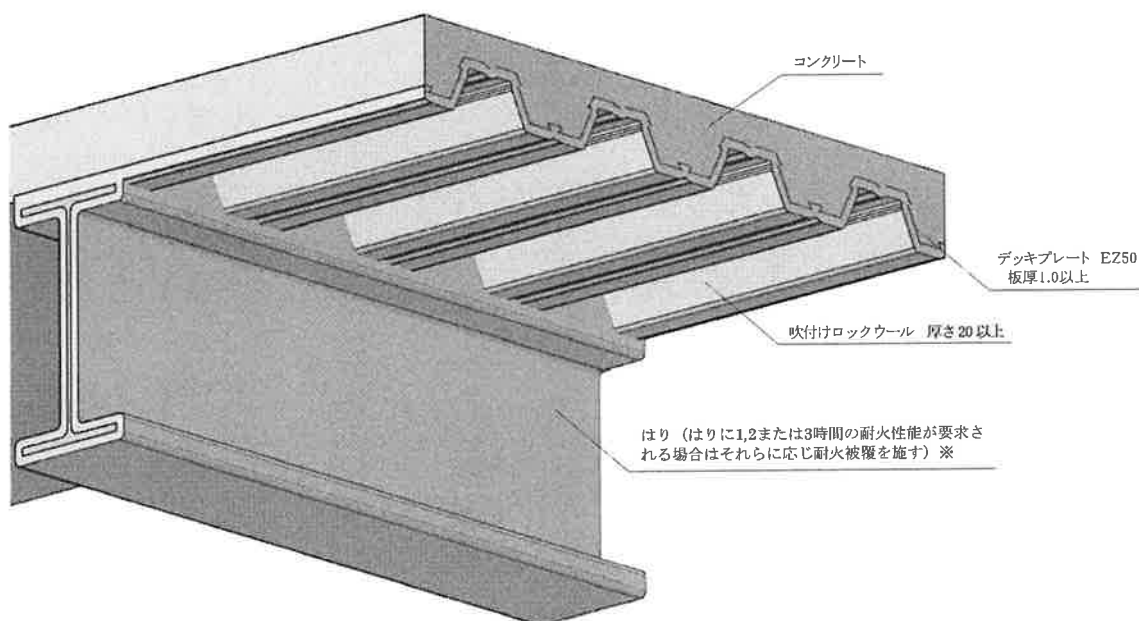


図1 構造説明図

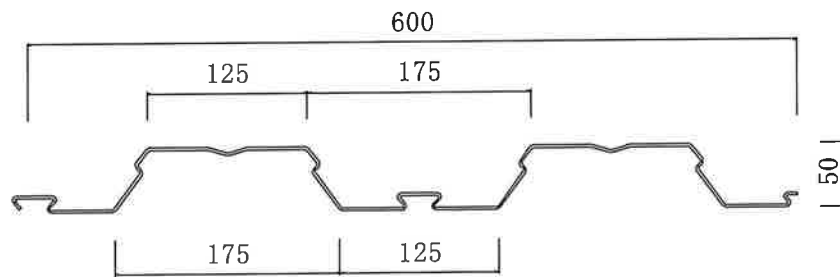
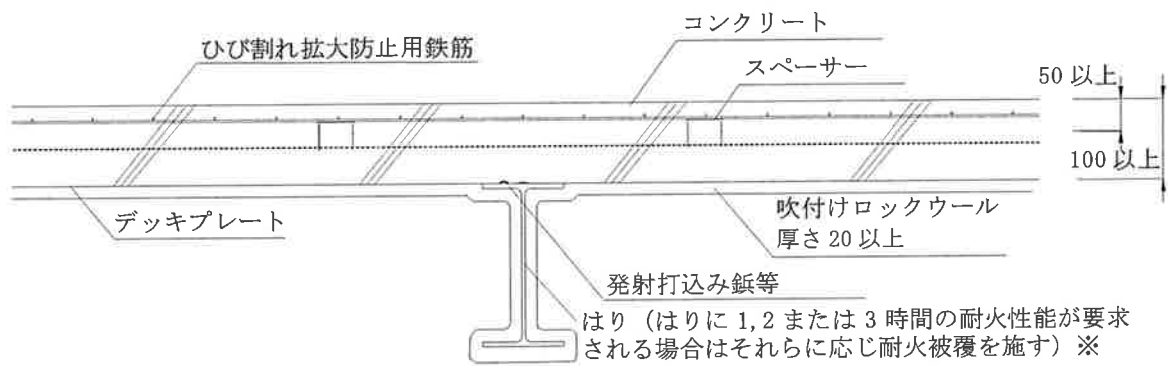


図 2 構造説明図

7. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

1) デッキプレートの敷込み

デッキプレートを墨出し線に合わせてはりに配置し、デッキプレートをはりにアークスポット溶接等で仮止めする。

2) デッキプレートとはりとの接合

デッキプレートとはりとは、頭付きスタッド、焼抜き栓溶接、打込み鉋またはアークスポット溶接で結合する。

3) 溶接金網又は異形鉄筋

コンクリートのひび割れ拡大防止のためスラブ上面より約3cmの位置に溶接金網または異形鉄筋を設置する。

4) コンクリート打設

鉄筋が移動しないよう注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。

コンクリートの施工については、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

5) 仕上げ

コンクリートの表面に金ごて等の仕上げを施す。

6) コンクリート養生

施工後の養生は、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

7) 吹付けロックウール

(a) 工場配送の場合

吹付け機で作業階まで輸送された配合材料を、ノズル先端の周囲から噴霧化された水で包み込み、湿潤させながら均一に下地面に吹付ける。配合材料に対する水の量は0.75～1.0(重量比)の範囲とする。

(b) セメントスラリーを用いる現場配合の場合

イ) スラリーの調合

あらかじめ水とセメントを攪拌機で混合しスラリーとする。スラリー中のセメント濃度は25～40(重量比)%とする。

ロ) 吐出量の調整

ロックウール及びスラリーの吐出量および配合比率を満たすように調整する。

ハ) 吹付け

吹付け機で作業階まで輸送されたロックウールをノズル先端部で噴霧化させたスラリーと混合しながら均一に下地面に吹付ける。

吹付け面に浮き錆および付着油等、吹付けに支障を起こすおそれのあるものは十分清掃する。デッキプレートとはりとの取合部は吹き付け施工の際、隙間のないように施工する。

吹付け作業者は、厚さ測定器で吹付け面積5㎡毎に1カ所以上厚さを確認しながら吹付けを行う。